

## 2021年度「IT賞」における『IT賞（社会課題解決領域）』の受賞について

ニッセイ情報テクノロジー株式会社（社長：矢部 剛、以下「NISSAY IT」）は、公益社団法人企業情報化協会（IT協会）が主催する2021年度（第39回）「IT賞」において、『IT賞（社会課題解決領域）』を受賞しました。なお、社会課題解決領域では2年連続の受賞となります。

NISSAY ITでは、世界に類をみない超高齢化社会を迎えている我が国において、「病床」という医療資源の有効活用を目的として、病床管理業務支援システム（「MEDI-SINUS」（メディサイナス））を開発し、医療機関のベッドコントロール業務の支援を通して社会課題解決に取り組んでまいりました。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う病床逼迫の課題に対しても、同システムにより医療機関の受け入れ体制構築の支援を行ってまいりました。

今回の受賞では、病床管理業務支援システムの取り組みが以下の点において社会課題解決領域のDXとして、IT賞にふさわしい事例であると評価頂いています。

- ・超高齢化による医療需要の変化を背景として、多くの病院がベッドコントロール業務に課題を抱える中、医療現場の意見をもとに、その解決策となるシステムをいち早く開発し、多くの病院に受け入れられている
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う病床逼迫の課題に対して、感染症患者の早期受け入れ体制構築の支援に実績を上げている
- ・将来を見据え、「医療従事者」や「医療機器」などの「病床」以外の医療資源の有効活用や、地域レベルでの医療資源の有効活用も視野に入れて企画している

なお、表彰式典は、2022年2月3日（木）・4日（金）に開催される「第37回IT戦略総合大会（ITMC2022）」にて行われる予定です。

### 「IT賞」について

わが国の産業界ならびに行政機関などの業務における事業創造、効果的ビジネスモデルの構築・促進、生産性向上等、“ITを高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人に対して、公益社団法人企業情報化協会が授与するもの。39回目となる今回は、計40社34件が受賞しました。

▽詳細はIT協会のホームページをご参照ください。

<https://www.jiit.or.jp/im/award.html>

